



# ADRC Highlights

Vol.159

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

1 April 2007

## ➤ JICA セミナー「防災行政管理者Ⅱ」及び「南・東欧防災コース」を実施、成功裡に終了

アジア防災センター(ADRC)では、国際協力機構(JICA)兵庫と協力し、2006年度で7回目となる「JICA 防災行政管理者セミナーⅡ」を2007年1月15日から2月23日までの40日間にわたり実施いたしました。

今年度は、「南・東欧防災対策コース」との合同で実施し、対象国は、コロンビア、クック諸島、ジャマイカ、メキシコ、フィリピン、スリランカ、シリア、タジキスタン、タイ、トルコ、ベネズエラ、ザンビア、セルビア、マケドニアの14カ国で、防災担当行政職員である19名が参加しました。

当セミナーは、日本の防災体制をモデルケースとして学ぶことにより、自然災害による被害の軽減を目的に、(1)災害の基本概念、(2)日本政府による防災対策、(3)地方自治体による防災対策、(4)民間とマスコミの防災に果たす役割、(5)災害別対策事例、(6)国際防災協力、(7)テーマ別防災対策、の課目を取り入れました。

研修員は、まず自国の防災事情をカントリーレポートとして発表した後、関係省庁や防災機関を訪問し、防災に関する取組みについて包括的に学びました。日本政府による防災対策としては、内閣府、国土交通



省、厚生労働省、気象庁、消防庁を訪問し、日本の災害対策の概要や災害時の応急対応、災害救助法や気象業務について講義を受けました。また、地方自治体の防災対策としては、兵庫県災害対策センターや神戸市危機管理室、人と防災未来センターを訪問し、1995年の阪神・淡路大震災から得た貴重な教訓とその後の復興対策について説明を受け、質疑応答も多く交わされました。また、富士常葉大学の小川教授の指導のもと神戸市灘区でタウンウォッチングを行い、その後のハザードマップ作成とともに潜在的リスクに対してコミュニティーレベルで防災意識を持つことの重要性を学びました。

また、研修期間中に神戸市内で開催されていた国際津波・地震フォーラムにも参加し、大災害後の防災復興への取り組み状況や兵庫行動枠組(HFA)の推進のための国際協力を知る機会を設けました。

各研修生はこれらの知識や経験を各国に持ち帰って、防災行政のリーダーとして自国の防災体制の強化のた

めに活躍することが期待されています。

当センターでは、今後ともこのような人材育成プログラムを通じて、国際防災協力に貢献していきます。今回の研修の実施にあたり、訪問・研修を受け入れていただいた関係諸機関の方々に厚くお礼申し上げますとともに、今後ともご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。この件については、ADRC 主任研究員の中野 ([nakano@adrc.or.jp](mailto:nakano@adrc.or.jp)) までお願いいたします。

## ➤ 台風委員会ハイレベルワークショップに ADRC 所長が参加

2007年2月13、14日、マカオ特別行政区の気象・地球物理局において、台風委員会(TC)ハイレベルワークショップが開催されました。このワークショップは、TC事務局がマカオに移転されて初めて開催される会合となり、開催期間中はTCの戦略計画に関する議論のほか、事務局移転に関する調印式、執務室の開所式に関する調印式などが行われました。

初日の開会式では、TCの新しい事務局長となったOlavo Rasquinho氏から挨拶があり、その後、国連事務次長、WMO事務総長のメッセージなどが紹介されました。最初のセッションでは、TCの戦略計画の状況について説明があり、その後UNESCAP、WMO、ADRCから戦略計画に対して支援の表明が出されました。また、マカオ特別行政区本部において、中国政府(マカオ特別行政区)とTCとの間での事務局招致に関する合意文書の調印式が行われ、新しい執務室の開所式が行われました。

2日目には、鈴木ADRC所長、韓国、中国の代表から発表があり、それぞれHFA、ミレニアム開発目標、北京防災宣言などTCの戦略計画に関連する取り組みについて説明がありました。戦略計画については、この後、実施にあたってのブレインストーミングが行われました。

閉会にあたり、TCから各種提言が出されましたが、その中に、ADRCが取り組んでいるGLIDEへのTCとしての支援、TCの活動促進のための人的資源・資金の有効活用、ホームページの改良、気象予報に関する訓練強化、環境に関する研究の強化などが打ち出されました。

今回のワークショップでは他にも、長年、TCの事務局長を務めたRoman L. Kintanar氏(フィリピン)が特別ゲストとして招待されており、委員会の活動の歴史が紹介されました。また、気象庁から出席された太平洋台風センター萬納寺所長からは台風の進路予想に関する取り組みが紹介されました。この件につきましては、ADRC所長の鈴木 ([suzukik@adrc.or.jp](mailto:suzukik@adrc.or.jp)) までお問い合わせください。

ご意見・ご要望等があれば  
右記までご連絡ください。

編集・発行： Asian Disaster Reduction Center (アジア防災センター)

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 ひと未来館5F

E-mail: [editor@adrc.or.jp](mailto:editor@adrc.or.jp) TEL: 078(262)5540 FAX: 078(262)5546

誌代・送料： 無料 / 毎月2回発行(予定)